

行雲流水

No. 3 2 6 令和5年7月27日発行

小さな清掃活動で自分自身を育てる

校長 寒河江 正人

生徒諸君、教職員の皆様、
特別時程による「大掃除」、おつかれさまでした。

日頃、手の届かない隅々まで、念入りにきれいにすることができましたね。
身のまわりが**きちんと片付いて、整頓されているのは気持ちのいい**ものです。

今年度は、本校の「**清掃改革**」が推進されました。
全校で行う「**一斉清掃は、週2回のみ**」。
合言葉は、「**短い時間で！ 早く！ 簡単に！ きれいに！**」です。

あとは、**生徒会専門委員会による朝清掃などの日常活動**や
各学年・学級による係の活動など、
生徒一人ひとりによる**小さな小さな自治活動の継続**で、環境美化を補完しています。
ご協力ありがとうございました。

一方、年度始めに紹介したように、**先生たちも一人ひとりが清掃活動**に取り組みました。
専用の掃除機を片手に、校内をまわってきれいにしている長岡教頭先生、
3階から1階まで、階段のモップがけをていねいにしている星川先生、
学校敷地内外のゴミをかかさず拾ってくれている小川技能士さん、
他にも、**目立たないところで校内外の環境美化に取り組んでいる職員**の皆さん、
ご協力ありがとうございました。

うれしいのは、

- 1 朝の登校の時に、**ゴミを拾ってきてくれる生徒**も増えましたね。
- 2 教室や廊下に落ちているゴミを知らんぷりして見過ごしたりせず、
自ら拾って、近くのゴミ箱に捨ててくれる生徒も増えましたね。
- 3 授業中の自分の消しゴムの消しカスを床にパッパッと散らかしたりせず、
ちゃんと集めて、ゴミ箱に直接捨てている生徒も増えましたね。

こういう小さな小さな日常の自治活動の積み重ねが、大きな成果として実を結ぶのです。